

# 東九州支部報

第95号

公益社団法人日本山岳会東九州支部 2021年10月25日(月)発行



第5回 山の日記念全国集会 (アトラクション会場) 2021.8.11撮影

も く じ			
1. 支部活動		こぎこぎ倶楽部 テント泊と黒岳·黒木山	14
第5回 山の日記念全国集会(記念式典)	2	星子会員 (祝)90歳久住山記念登山	16
第5回 山の日記念全国集会(記念山行)	3	てるてるの会 九州百山 黒髪山(佐賀県)	17
(7月月例山行) 県境歩き越敷岳付近	4	犬ケ岳 恐淵 (沢登り)	18
(9月月例山行) 県境歩き越敷岳〜国観峠	5	富士山登山(吉田ロルート)	20
(10月月例山行) 県境歩き国観峠〜祖母山	6	てるてるの会 九州百山 福智山(福岡県)	22
山の安全を祈る集い(法華院温泉山荘 観音堂)	7	北アルプス 奥穂岳南稜	23
研修山行(中級者登山講習会)鋸切谷	8	日本百名山の登山(焼岳・御嶽山・瑞牆山)	24
2. 個人投稿	10	3. 支部からの報告 (支部会議報告)	26
ペンリレー(第 42 回)	10	ルーム利用状況	26
より安全な登山のために(No,42)	11	4, お知らせコーナー	26
三角点と山城探検シリーズ(第30号)	12	月例山行予定ほか	26
私の無名山ガイドブック (No,82)	13	後記	28

# 第 5 回「山の日」全国記念 集会 in 久住(記念式典)

2021年8月11日

報告 加藤英彦 (8765)

国民の祝日「山の日」が制定された 2016 年 8 月 11 日から毎年全国での持ち回りの記念大会が今年第 5 回「山の日」記念大会として大分県にて開かれた。実はこの大会は昨年 8 月 11 日に行われる予定であったが東京オリンピックと同じ様にコロナ対策のため 1 年延期されやっと今年の開催にこぎつけた。

大会実行委員会は大分県生活環境部自然保護推 進室担当で実行委員長は大分県知事広瀬勝貞、開 催市町村以下それぞれ担当役割で行われた。今回 の大会でのテーマは「山に遊び・恵みをいただく・ おんせん県おおいたの山の絆を未来へ」である。

まず、歓迎レセプションが前日の8月10日、別府市において招待客220名の参加者で行われたコロナ対策にて華やかな前夜祭とはならず本来なら歓待の飲食を伴なったものとなる会も静かに行われ短時間で顔みせの会で閉会となった。

記念式典は8月11日、この日はオリンピックの関係で祝日「山の日」とはならず平日扱いでの開催であった。会場も九重文化センターの方には招待者200名体育館には事前に行われた募集での抽選にて入場券に当たった250名限定での会となった。コロナ対策として事前に配られた健康状態のチエックシートの提出、検温、マスク、そして席



ヒゴタイを守る子供たち

は1つ おきの 席とな った。

セレモ ニーの 内容に ついて は実行委員長のあいさつ、歓迎のあいさつ、自然 保護や登山道整備の各種団体の紹介、合唱等が 次々、来年の山形県へ引き継ぐ「山の日帽」引継 ぎセレモニー・そして閉会の言葉等盛たくさん、間 に小学生・中学生・高校生と将来を担う人達の紹介 もあり盛りあがった。そして、目玉としてのトー クイベントは司会石丸謙二郎、ゲスト三浦豪太、 工藤夕貴、南谷真輪の3名によるトークショーが あった。

時間にしても3時間それなりの盛り上がりがあったし記念式典であった。

この記念式典の詳細なる映像は次の YouTube にて見ることができる。

#### https://youtu.be/c39M8Ra71ZA

午後からは長者原園地で行われていた歓迎フェステバルの方へ訪れてみたがあいにく本降りと

なった雨の中、 メインステー ジでは芹洋子 の歌謡ショー が行われてい たが観客もま ばらだった。 大分合



石丸謙二郎司会のトーク

同新聞も臨時センターを設けて記念新聞を配っていた。

行政主導での一連の山の日イベントはセレモ ニー化していると言われているが年一度の行事で あり県内で開かれるのは次回いつになるかわから ない。そういった意味で参加する事にも意義があ ると思った。



「山の日帽」の引継ぎ

#### 広瀬勝貞 (大分県知事)

→吉村美栄子(山形県知事) ^



大分合同新聞 「山の日」号外

## 第5回「山の日」全国記念 集会 in 久住(記念山行)

2021年8月11日

報告 阿南寿範 (9169)

8月11日は「山の日」。今年の「山の日全国記念大会」はここ大分県で開催された。通例だと「国民の祝日」であるが、今年は東京オリンピックの関係で休日とはならなかった。メイン会場は九重コミニティセンターである。式典、アトラクション等はすべて行政指導の下行われた。

コロナ過、会場には事前に申し込みが必要で抽選 に当選した人のみが入場できる。雨で足元が悪く会 場は少々盛り上がりに欠けていた。

全国持ち回り大会であるため、他県で開催される場合は当支部としては、この日に合わせて県内の山岳3団体に呼びかけて合同で記念登山会を各市町村持ち回りで「ふるさとの山に登ろう」のテーマで行ってきた。しかし、今回ばかりはコロナの影響もあり3団体の足並みが合わず、当支部は、支部単独で登山(久住山)を行うことになった。

雨模様の中で牧ノ戸峠駐車場に11名の会員・家族(小学生2名含む)が集まった。車から降りるとポタポタ落ちる雨、牧ノ戸峠レストハウスの軒先を借りて記念写真。のちグループ分け、(久住山山頂目指す組と、途中の岩場でクライミングの練習をする組)8時10分同時に出発。いつ来ても沓掛山の稜線までの、歩幅の合わないコンクリート吹付登路は息が上がる。クライミング組は沓掛山山頂手前の岩でホールド確認、試登を始める。頂上組は、先に進む。小学生2名は、とても快調で我々もペースに引き込まれる。扇ヶ鼻分岐あたりから段々雨脚が強くなり風も出てきた。登山道に水が流れ始めてきた。星生の分岐点付近まで来たが小学生はここで引き返すことになった。とても残念がっていた。この日す

れ違った登山者は3~4 組ほど、雨のせいだ。10 時20分、久住山遭難小 屋に着く。普段は小屋の 中に入って休憩すること はなく小屋の前の広場で ある。ずぶ濡れのため中 に入る。頂上に行くべき か、このまま引き返すか、 稜線の風は結構強いが行 くことにした。11時5 分久住山山頂。滞在時間 7分、雨が激しく打ちつ



久住山山頂は雨

ける視界数メートル。久住山遭難小屋に戻り、昼食をとった。小屋には1人利用客いたが、貸し切り状態である。ゆっくり食事を済ませ。雨の中を牧ノ戸 峠駐車場へ下山。13時20分着。

参加者が少人数であったが、「山の日」の登山出来たことは意義深い。



牧ノ戸峠レストハウス前

【山頂組】

飯田 (勝)、飯田 (ひ)、(小学生2名) 中野 (稔)、中野 (梨)、下川、阿南、 【クライミング組】 安東、田所、笠井

## 越敷岳、群山、緩木山(県境歩き) 7月 月例山行

2021年7月20日 会友 239 中野梨絵

今日この日を迎えるまでにリーダーのサポートで 下見の際、大雨の降った次の日で、草や木が濡れて いて路面も滑りやすく、ちょっと踏んだ木の根に足 をとられて一回転して頭を打った私。この梅雨の時 期はこんな危険があるとあらためて山は危険と隣り 合わせだと考えさせられました。それから上手に転 ぶ方法を山側に体重をかけることを学び当日を迎え ました。朝7時半に現地集合の8時に出発でしたが、 皆さんが早めに集合してくださったので7時半の出 発になりました。コンクリートの林道を歩きだすと 緩木山・越敷岳の分岐が見えて、越敷岳方面の右へ 15分くらい歩くと林道も終わり、登山道らしい山 道に入ります。濡れた木の枝やコケ岩を15分くら い登ると仙人枕に着きました。昔、仙人が枕にして いた大きな岩を見ながら、しばらく10分くらい歩 くと明神の滝がみえてきます。氷解けの季節には氷 柱が解けて春を告げると看板に書いてありました。 また濡れた急登を登ると御聖洞・挟み岩の分岐につ き、挟み岩へと右へ登ると展望所があり、遠くの九 重山系が雲に隠れて少しだけみえて、眼下には田園 風景がひろがっていました。それから稜線に戻ると 挟み岩が見えてきました。人一人が抜けるのがやっ とと思うくらい狭い岩の間です。看板には、親不幸 者は挟まれて通れなくなり、カップルで通ると幸せ になると伝えられている。と書いてありました。一 人一人挟まれて岩を通る中で、狭い岩肌をみて振り 返り私は通れないと言うので大丈夫。大丈夫。と声

をかけて挟み岩へと押すと、先に通った方たちが、 声掛けをしながらザックを引っ張り上げてくれて、 無事にみんなで通ることができ、それから少し下さ った所に御聖堂とよばれる洞穴の修行場跡があり、 そこから登り返し、急登を 15 分くらい登ると越敷 岳の尾根につきました。尾根をしばらく歩くと石に メッセージが書いてあり「25日、西から35分あ んべよしと」と、木に長いピンクのテープを見なが ら、越敷岳に向かうと、大きな岩が目の前に立ちは だかり、この大岩の上が頂上になっており、左右ど ちらからでも岩を半周するようになっていて、左へ と進み岩肌をトラバースして登っていくとポッカリ と穴のあいた、山賊岩屋と言われているところに着 きました。下見の際、通ったら、かなり急で四つん 這いにならないと厳しい穴でした。岩場を這い上が ると、9時20分に明るい岩上の越敷岳山頂につき ました。



#### 越敷岳山頂にて

展望は360度のビューですが、今日は曇りで遠くの山々が少ししか見えません。そこで記念写真を撮影して、群山に向かうA班、直接緩木山に向かうB班に別れて、下りは反対側に進み北側の竹田市郊外の田園風景を見ながら右巻きに降りていくと崖下に「御神水」と書かれた岩屋があり、岩奥に知恵が付くと言われる水がありました。それから稜線に戻ると、A班は群山に向かって、南斜面を80m下り、大きく越敷岳の岩峰を迂回して、群山に向かう県境

尾根に登り返しました。尾根に着くと 10m、20mのアップダウンを繰り返し、途中ササやぶをかきわけ 11時6分に群山山頂につきました。集合写真を撮ってから戻る途中、少し開けた展望が見えるところで昼食をして、越敷・緩木の分岐に 13時に着きました。

先に緩木山にむけて出発したB班は踏跡のしっか りした県境尾根を歩くと長尾山に11時8分に着き、 またしばらく歩くと開けた草原にでました。白いナ ツツバキの花や、遠くの阿蘇一角の高岳、根子岳、 それから登ってきた越敷岳と重なるように群山が見 えました。それから緩木山を目指し、緩木山の山頂 は山城跡らしく台地状にかなり広く自然林に覆われ ていて展望は望めませんが、休憩するにはちょうど 気持ちのいいところでした。それから足元の悪い登 山道を小刻みなジグザグ道を下ると滝がみえてきて、 沢を2回横切ると砂防ダムの脇の道路に出て、15 分くらい歩くと14時45分に駐車場に着きました。 A班は約2時間遅れで駐車場に着き、全員集合にな りました。大変な長丁場で体調を崩したり、足が痛 くなったりして思うように登山できなかったところ もあると思いますが、皆さんと無事に下山出来た事 とても感謝しています。

本当に本当にありがとうございました。



群山山頂にて

中野屬、飯田、鹿島、中島、丹生、大渡、佐藤屬、境、久知良、深草、平原屬、安部、清水屬、清水區、清水區、 古谷鄉、大星、平原屬、榎園、飛高、諸田、中野鄉

## 緩木山~国観峠(県境歩き) 9月月例山行

2021年9月26日 会友 178 清水久美子

月例山行、テーマは「県境を歩く」。9月の山行 は前回の越敷岳~群山~緩木山の縦走の続きとな る。今回は、前回下った登山道を緩木山を目指し て、まずは登り始める。ジグザグに登って高度を 稼ぎ、緩木山山頂へ向かう分岐で、山頂に向かう メンバーと待っているメンバーに分かれた。私は 体調がいまひとつだったので、待機組として山頂 に向かったメンバーを待って、その場でひと休み をさせてもらった。山頂から降りてきたメンバー と合流し、祖母や越敷岳に向かう縦走路の分岐を 目指して、グッと気合をいれて登り、出発から約 3時間で分岐に到着した。いよいよここからが、 前回の続きとなる県境のコースとなる。ワクワク しながら歩き始めたが、細かいアップダウンが多 く、予想以上にきつかった。烏帽子山を経由し、 そこから三県境にあたる茶屋跡で昼食を取り、国 観峠に向かう。国観峠からは神原登山口を目指し、 激下り。滑らないように慎重に歩き、五合目の小 屋からは沢を渡って、来月歩く神掛岩から下るコ ースを少しだけ予習。フカフカな土の登山道で歩 きやすかった。今日もきつかったですが、御一緒 してくださった皆様のおかげで楽しい山行になり ました。感謝。



烏帽子山山頂

#### 〈参加者〉

中野穩)、飯田、鹿島、中島、丹生、大渡、佐藤樹、境、久知良、深草、平原礦、安部、清水嶺、清水顷、 古谷㈱、大星、平原﨑、榎園、飛高、諸田、中野㈱

# 国観峠~祖母山(県境歩き) 10月 月例山行

2021年10月3日 14505 下川 智子

10月の月例山行は祖母山。コースは上りが神原登山口から登山道左岸を5合目小屋、国観峠を通り祖母山山頂、下りが9合目小屋、面のつらコース、神掛岩、登山道右岸、神原登山口で8時間30分の行程。

上りのコースは歩いたことがあるけれど、下りは 初めてのコースで難所も何か所かあると聞き、期 待半分不安半分で参加する。6時30分神原第1 駐車場集合。第1駐車場で参加者の数を確認、2 1名の参加となる。第2駐車場まで山道を登りト イレを済ませ出発式。今日のリーダーの丹生さん から、地図と登山計画書が配られる。点呼とコースの説明の後、6時45分出発する。

20分ほど緩やかな登り坂を歩くと神原川の 沢の水音が聞こえてくる。左に御社の滝を見なが ら7時20分、5合目小屋に着く。ここから登山 道の傾斜が急になり息が上がる。皆の様子を見た リーダーから30分に一度休憩します、との声掛 けあり。ほっとしたのもつかの間あまりの急登に 20分で休憩要請。その後もほぼ20分間隔で休 憩しながら9時15分、国観峠見晴らし台に到着。 天気も良く由布、鶴見がきれいに見える。10分 ほど休憩して国観峠を通り祖母山頂を目指す。

国観峠からは緩やかな稜線歩きで山頂直下の急坂 も大小様々の石で整備され歩きやすくなっていた。 10時10分組母山山頂(1.756.4m) 着。しばら く山頂からの眺めを堪能し全員で写真撮影。10 時35分下山開始。宮原コース分岐から9合目小 屋へ降りる。トイレ休憩をして、宮原コースを少 し下りメンノツラコースの入り口からメンノツラ コースを30分ほど下る。メンノツラコースに入 ると周りはシャクナゲが群生、これほどの群生は 初めて。花の時期に来れたらいいなと思った。そ こで昼食。朝が早かったのでお腹が空いてご飯が おいしい。食後、丹生さんからこれからのコース の説明があり、「難所が二ヵ所あるけれどロープ を準備しているので必要な時はそれを使っており ます。ゆっくり慎重に降りてください。」と言わ れ身が引き締まる。歩き始めるとすぐ急登で昼食 後の体が重い。フーフー言いながら30分くらい アップダウンを繰り返す。すると第一の難所に着 く。大きな岩を直角に曲がると下は絶壁でやっと 靴を乗せられる幅の岩に靴をのせ滑りそうな岩に 手を置き 1.5 メートルくらいの岩に添って少しず つ体を移動させる。何とかたどり着くと岩の反対 側はロープのある急斜面になっていてここも落ち ないように後ろ向きになって降りる。やっと少し 平坦な場所に降りてほっと一息つく。そこからは 前障子岳が遠望できた。皆が揃うのを待って再出 発。そこから15分くらいあるくと第二の難所と なる。やはり大きな岩を巻き込むようになってい てほんの小さな岩の隙間に指を入れ身体のバラン スを取りながら後ろ向きに降りていく。全員が無

事降りて丹生さんが「今日のコースの難所はこれで終わりです。これからはゆっくり山歩きを楽しんでください。」と言われた時は心からほっとした。13時30分、メンノツラ越分岐に着く。そこには3つの標識「神掛岩」「メンノツラ越」「祖母山頂 小松尾根ルート」があった。そこから神掛岩まではアップダウンが3回続き結構きつい。でも初めて見る神掛岩は想像していたより大きく天に向かって聳える様は、神様が座った岩という伝説?も頷ける。眺望も素晴らしく皆さんそれぞれ写真を撮ってご褒美のような眺めを楽しんでいた。それから「メンノツラ越」の標識まで戻りそこからはヒメシャラの林の中を歩く気持ちのいい



ヒメシャラ林

に着く。全員の無事下山を確認して解散式をして 解散する。私にとっては今年一番のハードな山行 だったけれど、リーダーの丹生さんや皆さんのお かげで楽しく達成感いっぱいの素晴らしい山行と なった。ありがとうございました。



祖母山山頂にて

#### 〈参加者〉

丹生リーダー、阿南、飯田 (勝)、鹿島、中野(稔)、下川、宮原、大渡、尾家、河野、平原(黴、山村、木下、柳瀬、飯田 (修)、清水(適、清水(の、古谷(耕)、平原(職)、中野(製)、諸田

# 「山の安全を祈る集い」 法華院温泉山荘 観音堂にて 報告 阿南寿範 (9169)

8月1日(日)朝8時牧ノ戸峠駐車場にメンバーは集合した。本日の参加予定者は23名であっが、 体調不良等で駐車場までの参加で終了した人もいた。 最終的に18名となった。

空は生憎の雨模様で天気予報では一日中雨である。 毎年8月第一日曜日には日本山岳会東九州支部では 「山の安全を祈る集い」法華院温泉山荘「九重の慰 霊の日」と称して共催で追悼式典」を開くことにな

っている。今回で 12回目を迎える。 例年は、現地の 慰霊碑の前で行う か、法華院温泉 決 を雨の中で行うかとはできないので とはできないので、 加藤前支部長が、 基 職氏)に連絡を取 り法華院温泉山荘 (観音堂)借りて



引蔵 26 代院主による読経

行うことにした。雨の影響を避けるため、自家用車を移動する。吉部集落より大船林道(途中ゲートの鍵を借用)を利用し終点の駐車場に止めて歩く(約40分)移動途中から段々と雨が落ちてきた。坊がつるの草原歩きでは雨の降りしきる中皆雨具、傘をさし歩いた。何とか法華院温泉山荘着き雨具を物看板に干し休憩したのち、法華院の施設の一部である観音堂に集まる。今年の実行委員長(宮原会員)より開式のあいさつ、続いて読経する引蔵院主が紹介

された。観音像前に参列した会員は読経の続く中、 参列者全員で焼香して慰霊と安全祈願を行った。ここで行事はすべて終了した。観音堂前に整列して記 念撮影し、昼食をとり解散。法華院温泉山荘を後に した。

法華院温泉山荘「九重の慰霊の日」は、昭和5年8月九重山での初の遭難事故と言うセンセーショナルな出来事であった。8月11日暴風雨の中、2人の21歳の若者が久住山の御池の周辺にて低体温症のため生命を絶った。

山は危険リスクが高い、何処でどのようなリスクが待ち構えているか分かりません。今日この日を期に、新たに山に行く自分自身の行動を見直してみましょう。



法華院温泉山荘にて



法華院温泉山荘〈観音堂〉にて

#### 〈参加者〉

阿南リーダー、首藤、加藤、飯田 (勝)、中野(稔)、 下川、宮原、渡辺(千)、若月、土屋、丹牛、神田、 尾家、河野、平原礦、松村、秋吉、清水(次)、平原礦、 中野(線)、吉田、青木

#### 「追記」

「会員飯田は、遭難した青年たちに思いをはせて雨天の中の同ルート登り、遭難慰霊碑前で定刻に合流すべく南登山ロルートを登っていて、本堂跡付近で行事の場所を法華院観音堂に変更を聞いたので、そのまま遭難碑まで登って一人で安全祈登山祈願をした。」

# 研修山行 報告 <沢登니> 祖母山系 夏木山 鋸切谷 2021年9月8日

報告 佐藤 彰(16709)

#### 【山行概要】

7:00 道の駅宇目駐車場集合 4台の車の内、2台は脇道に駐車、2台で 藤河内渓谷第一駐車場まで行く 安東リーダーの挨拶 遡行図を頂き、ルートの説明と諸注意あ り

7:30 出発

7:40 少し下ったうろこ平で登山靴から沢登用 靴に履き替える。

- 私は40年前の古いフェルト付きの靴に 草鞋を装着した。
- ・以前、藤河内渓谷は何度か来たことがあるが、今回初めての沢登研修でありワクワク感が高まる。

#### 8:00 入渓

参加者6名、3班に分かれパーティーを 組む

私にはベテランの田所さんに組んでいた だいた。

昨日は雨であったが、その日は一転して晴れ。水嵩を心配したが、それ程でもなかった。

それでも入渓の取っ掛かりから30メートルほど続くゴルジェ。

- 迷惑を掛けないようついていこうと私は 必死であった。
- 泳ぎが得意と思っていた私も、滝の取り つきに辿り着くのも大変で体も冷え、 体力を消耗した。
- リーダーの安東さんから、水が冷たいの で雨具を着たらいいと 助言があり、自 分も雨具を着た。
- 11:30 昼食(日が当たるナメで昼食を食べ、体を温める)
- 12:00 最後の難所にチャレンジ鋸切谷入口の1 のメートル程ある滝に、田所さんがチャ レンジし、矢上さんがビレーする。一度 はスリップして滑落するが流石ベテラン、 落ち方も上手で無傷で滝壺に落ちる。再 チャレンジで無事登り上げる。他のメン バーはトラバースして合流する。
  - ここには無数の甌穴があり、ナメ、ミニゴルジェ、小滝ありで、独特の景観を作っている。水も綺麗で、童心に帰り楽しい時間を共有できた。
- 13:20林道に出くわした。駐車場まで林道を下る。
- 15:00 駐車場に到着(正味 約5時間の沢歩きであった) 安東リーダーの閉会の挨拶と反省会それぞれのメンバーが感想を述べ、来月の再開を約束。

15:30 解散

#### 【感想等】

今年3月に入会して、初めての中級者向け山行研修に参加させてもらった。

祖母・傾国定公園の藤河内渓谷は、桑原川の上流、 観音滝を起点とした8kmの渓谷で、甌穴を伴う花崗 岩一枚岩の渓谷美が特徴とされています。

清流とどんと構えた花崗岩の大岩と眼下をくねくね 流れる甌穴の谷、新緑の木々、花崗岩の造形美と透 明な美しさをたたえた淵等々。

このような大自然の中に一日いて、心身共にリフ レッシュ出来、遡行時にチーム全員に助けて頂き、 困難を克服し、遡行を終えたときには、格別の達成 感、充実感があり、この素晴らしいメンバーであれば、また参加したいと思える大満足の研修会でした。

1つのザックの中にビニールで空気の層を作ること、ビレイの仕方、カラビナの使い方も少し教わりました。次回までにはロープワークを練習し、先輩の技術を習得するためにも是非また参加しようと思いながら帰路につきました。

以上

リーダー: 安東

メンバー: 鹿島、田所、笠井、矢上、佐藤 🕸

総勢 6名







#### 個人投稿

## ペンルー・第42回

## 「感謝の登山歴」

櫻井依里 会員番号(15463)



私が初めて山に興味を持ったのは、平成18年10月30日のことです。

「九重 夢 大吊橋」の落成式当日、ヘリコプターで見学に行きその帰り九重連山を見た時のことです、その景色たるやたとえようのない美しさで、この山の上に自分の足で立ってみたいと思ったのが最初でした。

それから数年後、現支部長安東桂三さんより傾山のガイド補助の誘いがあり参加。その時,

安東さんから正式に山岳会に入り勉強したらとの誘いを受け1996年8月日本山岳会に入会しました。

その頃の私は仕事で心身共に疲れ果てた状態で山に登ることで安らぎを覚えていました。

そして1997年に前支部長加藤英彦さんより槍ヶ岳に連れて行くとの発表があり(山の名前は聞いたことがあるが素人の私が登れるなんて。もうそれだけで入会した甲斐があったと思いました。) その後大分百山、数々の山、登山以外の活動に手取り足取り新入会員の面倒を見て頂きました。頭が下がる思いでした。

今日、山岳会に在籍出来ているのは加藤英彦さんのお蔭は勿論であり、多くの諸氏先輩のお蔭と 感謝に堪えません。これらの教えは今後、後輩に引き継いで行くべきとは思うのですが、なかなか 出来るものではありません。

又、このペンリレーを書きながら北アルプス、南アルプスの数々の名峰に登った時のメンバーとの思い出が鮮やか蘇っています。このような山の話をしたからでしょうか母はテレビの登山番組を見るようになり私の登山姿を重ね合わせているそうです。

最後となりますが己が正剣を抜けば山は感動や喜びを与えてくれ災難を遠ざけてくれます。そして善き人を集わせくれるものではと思っております。邪剣(傲り、過信、傲慢)を抜くことが無いよう(因みに失敗2回)今後も山に対し謙虚に登山仲間に感謝して目標75歳まで登りたいと思う日々です。

次回のペンリレーは、笠井美世会員(準会員AO224)にお願いしました。お楽しみに!

### より安全な登山のために No.42

# 「いつも思う、起きるべきして起こる事故」 安東柱三 (9193)

7月29日、福岡県中間市の認可保育所で、5歳の男児が送迎バスに閉じ込められて、熱中症で死亡する事故が起きた。前園長が、一人で運行するバスに乗ったまま、男児は約9時間、車内に放置され、死亡した。

幼児が、車内に放置され、死亡する事故は、遊戯 店の駐車場などで、起こることが多いが、認可保育 所での事故は珍しい。

まず、問題点の一点目、前園長が、乗降時の人数 確認や降車後の最終確認をしなかったこと。二点目、 クラス担任保育士は、保護者に出欠確認せずに、男 児を欠席と思い込んだこと。三点目、安全マニュア ルも形骸化していたこと。

他に要因として、バスに添乗職員が同乗してなかった。未就学児が通う施設を所管する厚生労働省、 文部科学省、内閣府には、送迎バス運行の安全基準はなかった。その3府省は、「送迎中は、保育や教育の時間にあたらない。運行の実態も把握していない」と説明。

ただ、認可保育所は、保育の時間中、1歳児6人につき保育士1人などの配置基準はあるが、送迎バスには、配置の基準はない。

さて、登山。登山も同様に、いつくかの要因が重なり、どうしようもない状況の時、手にすくった水が、指の間から零れ落ちるように、事故へと結びつく。

登山出発時間が遅れた(まあ、良いかと、登山を始めた)。ちょっとしたことで、道迷い(地図を見ようと思ったが、地図を持参していなかった。日頃から、地図を持参していない)。GPS携帯やGPS専用機で、確認しようとした(圏外で、確認出来なかった)。まあ良いか、このまま進んだら、どこか登山道に出るか(歩くうちに、道(獣道?)が無くなり、崖の上にでた)。まあ、下の方に登山道ら

しき道が見えるので、下りてみるか(崖の途中で、下れず、滑落してしまった)。滑落して、ケガを負ってしまった(三角巾でもつかって処置をしようとしたが、三角巾を忘れた。あるいは、いつも救急セットを持っていない)。次第に暗くなり、気温も下がってきたが。(最終的に、防寒具もない、ヘッドランプもない、ツエルトもない、滑落の時に携帯が壊れた)。ああ、登山届を、誰か、しっかりした(山のことが解り、私の能力を知って知る人)人に出しておけばよかったと反省、でも、今回は、それをしてなかった、誰か探してくれないか!!

そのようにして、起こるべきして起こる事故は起こる。東九州支部のメンバーは、そのような事がなようにと願う。お互いに、注意することは注意し、指摘するべきことは指摘し、受け入れるべきは、受け入れる。山は楽しい、楽しいだけでは、事故は減らない。安全に楽しく登るためには、日頃からするべき学習、準備はしたい。

また、支部のメンバーは、登山届を提出するようになっている。そしてその届は、支部の遭難対策部で、チェックし、問題点は改善するようにと伝え、かつ、東京の本部に提出するようになっている。チェック機構が、働いてこそ、事故には結びつかない。

先日、祖母傾山群で福岡県の単独の71歳男性が、 遭難する事故が起こった。情報を収集しているが、 今のところ収集できずにいる。その男性は、祖母山 登山口の上畑健男社を9月18日出発し、2泊3日 で祖母傾を周回縦走する予定でいた。登山届は、ボックスに提出されていたらしい。21日に帰宅の予 定だったが、帰宅しないので、妻から、警察へと届 が出された。そして、26日午後、遺体となって発 見された。

状況がわからないまま、それを述べるのは良くないことだが、一番悔やまれることは、18日に山に入ったのに、捜索が開始されたのが、22日という事。単独、71歳、荷物が重いなどの要因があるが、一番は、コンタクトの問題。単独であれば、毎日の行動を留守宅に連絡することが重要。計画が縦走なので、祖母傾稜線からは、携帯連絡がどこでも出来る。71歳男性は、日頃から連絡すことはなかったかもしれないが、単独であるなら、毎日、計画宿泊

地に到着すれば、「今日の計画は終わり。明日は……」 の連絡をするべき。また、いつも連絡入るのに、今 回は入らないと妻が心配し、18日に警察に届けを 出せば、早い解決だったかもしれない。

登山開始後、数日経っての捜索は、捜索範囲が広く大変だった。初日の行動だけなら、健男社から、祖母山までの範囲だったので、もしかしたら、早く見つかり、死亡には至らなかったかもしれない。本人も、あるいは留守をあずかる妻も、残念だ。登山を趣味としているものは、山で死ぬのが本望でなく、無事に帰って、また次も山に行くのが本望。



障子登山口<上畑健男社脇>

# 三角点と山城探検シリース(第30回) 「本宮山を歩いた」 (会友11) 安部可人

『新大分百山』に追加されて喜ばしい。緑山岳会が2016年発行の25周年記念「高崎山、霊山、本宮山の地図」があればよい。安東桂三さんが赤線を引いたルートを好奇心あり確認の為全部歩いたが、平原コースがいきなりの急坂一番山らしい(案外無視)。令和元年1月13℃、83歳は西寒多神社から高取道標まで1時間40分もかかった。高取の三角点でやめたが、帰途が長かった。令和3年4月14日飯田、櫻井、平原、関組は全コース、安部は

- 高取から合流した。もっと優しいのが2、4、6, 7番、95 才でも歩ける。自宅から 25 分で行ける 私の庭、独りで遊べることはいい事だ。「短すぎて楽 しめない」安東、「ちょうどよい」安部 本宮山は老 人がどこからでも登れて有難い。但し地形図が読め ないと危ない。
- 1. 平原コース 平原地区駐車、竹林・植林雰囲気の良い急坂登山道はやえこちゃねー、山頂まで2kmある。地形図の220の黒点2つは柏集落跡一合目20分(写真)。15分で2合目・260(写真)、その辺は気持がよい。標高点・385真下の林道に出る。林道西へすぐ、御旅所登山口。私は本宮山までは無理だから、五合目から10分、標高点・385を頂上とした(大野町から昔の西寒多神社参詣道跡らしきを見た)。
- 2. 御旅所コース 衛藤病院~米良神社~釈迦堂・205展望台~御旅所登山口、数分で西寒多神社からのルートに合流「道標」430地点、北斜面伐採展望台460を「御旅所」という(注)。25分で山頂。標高差180m、距離900m丁度よい、令和2年正月2℃、息子と実行。
- 3. 安田ロコース 西林道案内駐車、谷の右を北北 西へ高度300~350のトラヴァース終えて直角 に北へすぐ、作業道のカーブ地点400に出る、10分で安田駐車場。距離1km高度差220の往路70分の急坂は楽ではない、安東タイム30分の2倍以上だ。
- 4. 安田駐車場コース 駐車場から北西に谷の右側 の尾根は北に変化して神社、山頂は近い。片道80 Om標高差167mは丁度よい。
- 5. 石川コース 石川地区で丸い貯水槽が右目前の 小橋を渡り、赤峰家の墓、倉庫白柱39号を斜め右に上がり荒れた道も楽しい、15分で竹林を出て110地点「本宮山道標」、本道に合流する。20年前下山時先行する妻がこの竹林に迷い込んだ。安東さんのこのルートは初心者には心細く、民家の庭先に出るのが難点だ。(注)担当の佐藤裕之「気をつけて下山する」はこの丁字路(幅広鞍部の迷い点)だ。6. 上石川コース トンネル手前、「これより離合困難」の標識を見て下り、右広場駐車、川沿い数分で石橋を左折して私道の坂上がる、カボス園が取付き

点 植林・竹林の落葉の路は悪くはない(安東地図は"難路"の表示)、本道尾根分岐点230まで破線30分。

7. 老齢ベスト高取コース 高取地区駐車~17分~250道標柱~急登15分~平坦40分~伐採地~5分~430平原分岐道標~5分~「御旅所(七合目)」案内(写真)、右70m、高度460石碑有(往復)。2番は、90老人のベストルートすばらしい展望だ。

(歴史) 460絶景ピーク「八紘」か一宇(家)」石碑あり(建立年ナシ)。神武天皇即位由来、"地の果てまでを一つの家のように統一して支配すること"(これは軍国主義のスローガンに悪用された)。15世紀本宮山神社から西寒多神社に御神体が遷宮されたときの「御休所」ではないか。心ある登山者は興味をもっている(2度教えをうけた)。標高点205下の「釈迦堂」の近く、土師~河原内から盛期の参拝者たちは追いはぎに悩んだ。標高点385の尾根道跡らしきは難路を避けて、現在の道路に合流して「釈迦堂」にいたるロマンの道だろう。神社はまだ遠い。 令和3年初夏 あんべ よしと 「野津原」



重点民家跡 220



260

私の無名山ガイドブック No,82 田/戸(378.2m)・岩松(504.7m) 飯田勝之 (10912)

前回の続きで佐伯市井崎川の源流域のピークを紹介しよう。井崎川源流と支流の川中川に挟まれた稜線上の、けっこう探検気分を味わえる三角点のピークである。

#### 田ノ戸

国道10号線の川中バス停から川中川に沿って入ると、集落を過ぎて国道から約700mで林道池ノ谷線となる。その奥400mのところから、左の小谷を登るとよい。道はないので小谷を左に見ながら谷から稜線に沿って急登していくと天然林の中の急登となる。そのまま急登していくとやがて岩の壁となるので、その裾を左に巻いて小稜線に登る。

右ヒノキ、左天然林の小さな稜線の急登で下の林道から約45分で主稜線に達するので、そこを左に緩く登れば15分ほどで3等三角点のある山頂に達することができる。

反対の井崎川の谷からのルートは、国道から 1.5km ほどの所から入る林道を上れば、伐採作業林 道を小型RV車なら稜線直下まで行くことができ、 ヒノキの斜面を直登5分で主稜線に達し、さらに5 分足らずで山頂に至ることができるが探検気分は味 わえない。

付近はスギ、ヒノキの植林地がほとんどだが、東はやや急な斜面のためにアカマツの点在する、ナラ、カエデ、クロキ、モチなどの天然林で、近くにはソヨゴが多い。

山頂から南に緩く下って岩稜を登り、藪を分けて登り返していけば15分余りで430mの無名のピークに達することができる。眼下に国道10号や前方に椿山の稜線が望めるこの峰は、下の国道を通過中に見上げると、思わず登頂意欲のそそられる峰でもある。

地形図:25000分の1:津久見

参考タイム: 林道池ノ谷線よりの登り□→45分→

小稜線→15分→田ノ戸三角点

#### 岩松

国道10号線の川中バス停から川中川に沿って入ると、集落を過ぎて国道から約700mで林道池ノ谷線となる。2.5kmほど行くと左(西)に海崎線94号の送電線巡視路の入り口がある。ここが登山口で、スギの植林地の中の巡視路をジグザグに登っていく。約40分で林道に出て、林道の直ぐ上に右に94号鉄塔への分岐があり、これを登って鉄塔の下からさらに巡視路を登ると、林道から20分で93号鉄塔の下に達する。ここが主稜線で、巡視路からそれて南に軽いヤブを分けながら稜線を進むと、490mの標高点を過ぎ、露岩の小ピークを三つほど越えて93号鉄塔から30分で岩松の鈍頂につく。照葉樹の林の中で、主稜線からわずかに西に寄ったところに4等三角点がある。

また、池ノ谷林道から巡視路入り口の100mほど手前に西に登る林道があり、これを入ると約2. 4km上ったところ(この約1km 先が巡視路の道)から、西に天然林の稜線に入り、急斜面を直登していくと30分の登りで三角点のすぐ北の稜線に達することができる。

井崎川源流とその支流の川中川に挟まれた長い稜線上の最高地点で、山域はスギ、ヒノキの植林地がほとんどであるが、この稜線や、急峻な斜面は天然林が残っており、この頂上付近は照葉樹の多い混交

林で、三角点のまわりはアラカシ、アカガシ、シイ、 アカマツ、ナラなどの見事な自然林である。

地形図:25000分の1:津久見

参考タイム: 林道池ノ谷線よりの登り□→40分→ 林道→20分→93号鉄塔→30分→岩松三角点



## こぎこぎ倶楽部 山行報告

## テント泊と黒岳・黒木山

2021年8月7.8日

丹生浩司(16103)·久知良美登里(16617)

#### 7日 テント(泊)

16時30分鼻牟礼峠入り口に集合して、今晩のキャンプ地へ移動。

まずは各々の場所を選び自分たち用のテントを設営、 それが終わると飯田さんが用意してくれた了人がゆ うに入るタープを設営し今夜の夕食準備に取り掛か る。メニューはもつ鍋、宮原さん、平原さんが食材を そろえてくれました。ありがとうございます。 まずはビールで乾杯、時々雨が降ったりやんだりす るが風が心地よくもつ鍋もおいしい。

しぜんとお酒も会話も進み笑いも沢山で楽しい一夜 が過ぎてゆく。宴も終盤になったころには、星も顔 をみせてくれました。男性陣チョット足元がおぼつ かないが明日は朝から雨模様との予想? でも夜中、 満点の星空でした。

#### 8⊟

ー夜明けてまずは目覚めのコーヒーのあと、ごはん、 インスタント味噌汁等で朝食。

朝食が終わりテントを片付け今日の集合場所へ移動する。 もう 2 台の車が先についていました。

全員がそろってからリーダーの説明の後、下山地に 車をデポレその手前の牧場にも清水さんの車を止め る。

昨夜からの7人と今日から参加の5人、合わせて 12人で8時53分出発。

フェンスを抜けて牛の糞をよけながら鼻牟礼峠を目出して歩き出す。

稜線に着くと日出生台で演習している爆音と火柱が 見え、しばし見とれて驚く。目の前は日出生台の着 弾点であった。

その後、890 メートルの黒岳山頂を目指して歩き出す。しばらくすると先行していた安部さんに追いつく。電波塔のフェンスを横切りみんなで三角点を探すと力ヤの中に埋もれた三角点を見つけ出す。全員で記念写真を撮った後、高橋牧場を目指して歩く。急な斜面を降りて広い牧場に出るとそこは草原でみんなで牛を見ながらゆっくり歩く。しばらくすると林道に出る。ここから稜線を歩く組と林道を歩く組に分かれる。私を含め6人は林道、後の人は稜線歩きへ。林道を進んでいくと高橋牧場の牛舎とその向こうに清水さんの車が見える。ここでリタイヤしようと思えばできたが、全員しなかった。暑い中頑張って林道を登っていく。上りつくとフェンスがあり、はるか向こうに目指す793メートルのピークが見える。

フェンスを開け中に入り歩き出すが、草が背の丈も あり歩きづらい。おまけに囲いの中から出られず、

戻ることもできず、結局フェンスの針がねを外しフェンス外へ出て針金を元に戻す。フェンスの外は気持ちのいい草原で、ここで昼食にする。昼食を食べていると、稜線を歩いた組が追いつき、一緒に休憩をする。もう昼食は食べたとのこと。

休憩も終わり、次を目指すには一旦下って次の山を 登り返さなければならないが皆頑張って登り、鹿よ けネット沿いに歩くと三角点はネットの向こう側で タッチできなかった。

ここからは高度を下げながら稜線を下り、背丈ほどもある竹藪の中を突き進むと安部さんが目の前に。ここからは全員で黒木山(688m)の三角点を目指すが山頂までは結構な距離があり膝丈くらいの笹がびっしり、おまけに雨も降りだす。皆で三角点を探すが、見つけられず多分ここだろうというところで記念写真を撮る。雨も強くなり急いで下山する。

鬼ケ城牧場の元牛舎で雨宿りしながら解散式を行う。 数分で車まで行けるが途中フェンスがあり乗り越え て車にたどり着く。

鼻牟礼峠入り口まで行きそれどれの車に乗り換え帰路へと着く。

今回の山行き、どちらに行けばいいか迷ってる場面でも地図を見ながら方向を示していた人もいて、会員の成長が垣間見えた山行きでした。

皆さんありがとうございました。



黒岳山頂にて



黒木山頂にて

<参加者> リーダー 飯田 宮原、桜井、若槻、平原 (産)、 安部、清水 (久)、柳瀬、柳瀬さん友人 平原 (瑞)、 丹生、久知良

> 星子会員 "90歳のお祝い" 久住山登山 2021年5月22日 星子貞夫(8582)

予想天気図(24時間)

東現 (21日06:00)

東現 (24時間)

東現 (24時間)

東現 (48時間)

東思 (72時間)

東思 (72時間)

東思 (72時間)

東西 (72時間)

東西 (72時間)

まさに天佑と言おうか、前日まで降り続いた雨も 上がり、雲は残るものの時々薄日の射す絶好の登山 日和となる。

総勢34名の希望者会員が集まり祝福の登山を共にしてくれた。当然のこと最後尾となったが、元気

な組は星生山、中岳、稲星山まで自由に足を延ばして全員山頂に集合して万歳三唱をした。

加藤氏の主導でシューベルトの野ばらをドイツ語で歌う。

加藤英彦氏の音頭取りで今日の良き日を迎えることが出来て感謝している。

帰路は九重遭難記念碑に参詣し一日を過ごす。

夜は希望者 12 名が長者原のホテル「花山酔」に 宿泊し夜会し、思い出話に花をさかせる。

翌23日は雲一つない日本晴れとなり、高原を散策してわかれた。いつもの事ながら久保氏の車の世話になった。

流石にキツイ山行であつた。自分の老化を実感した。



"祝"卒寿 久住山山頂にて



長者原のホテル花山酔にて祝宴

参加者: 星子貞夫(1931/5/21生)、 首藤宏史、加藤英彦、 久保洋一、境卓也、石川洋祐、岩崎真琴、石神美智子、 阿部幸子、工藤吉子、若月美智子、土屋多喜子、 秋吉けさみ、 飯田勝之、塩月靖浩、桜井依里、宮原照昭、 渡辺千代春、 尾家尭夫、河野達也、 平原健史、下川智子、藤澤容子、渡辺和子、神田美代子、長野珪子、宮本真理子、清水道枝、清水久美子、雪野佐喜子、平原瑞枝、三浦陽子、 青木美代子, 藤沢智子、松井豊三

てるてるの会 山行報告 九州百山 黒髪山(佐賀県) 2021年8月8·9日

平原健史(16718)

オリンピック開催に伴い設定された連休初日の 7月22日、黒髪山に挑戦です。

黒髪山は、佐賀県武雄市と有田町とにまたがり、 山と渓谷社発行の九州百名山地図帳では、①龍門登 山口、②乳待坊展望台、③有田ダム駐車場が登山口 として紹介されています。



黒髪山への道標

今回は、有田ダムからのルートにしましたが、ダム駐車場からではなく、更に進んで車進入禁止の標識が掲げられているすぐ手前の道路脇に車を停めて登山することとしました。

進入禁止の車道をちょっと進んだ後、沢に沿って 登っていきます。川音を聞きながらしばらく進むと 石段が現れました。こんな山の中にどうして石段が あるのかと思いつつ登っていくと、百名山地図帳で 有田ダム分岐となっている十字路に到着。登ってき た方から右へ行けば英岩、真っ直ぐ行けば西光密寺 と標識があります。ならば、山頂は左に行くのだろ うと左のルートを選択。間違いではありませんでし たが、後で西光密寺を訪れた際、お寺からも山頂に 行けることが分かりました。 さて、左のルートを 道なりに進んで行くと龍門登山口からの登山道に合 流し、そこから稜線を歩きます。山頂の方向を示す 標識板に従って進み、最後の難所というか鎖場の岩 の間を登り、そのすぐ先が山頂でした。



黒髪山山頂にて

山頂には、さすが陶器の町にある山だけあって、 有田焼の方位盤が置かれ、360度の眺望を楽しめます。また、山頂の手前のせり出た岩が天童岩。ここからの眺めも雄大で目前に青螺山が登って来いと迫っていますが、時間の関係で断念、その代わりに少しだけ青螺山の方向に進んで蛇焼山と呼ばれているピークまで行ってきました。

その後は来た道を引き返します。有田ダム分岐で 昼食の後、西光密寺を訪れました。空海一真言宗一 高野山金剛峯寺、最澄 - 天台宗 - 比叡山延暦寺と覚 えた、あの空海縁の寺で、その昔の神仏混合を示す ように、寺から黒髪神社の鳥居を潜って神社上宮、 黒髪山頂へと道が続いていました。

寺から再び山頂を目指すのも物憂く、寺の周囲を 散策しようとしたところ、黒髪山生活環境保全林案 内図という何とも堅苦しい名前の案内図を見つけ、 その案内に従って太鼓岩不動寺を目指すこととしま した。何を期待する訳ではありませんでしたが、途 中で太鼓岩不動尊磨崖仏に出会ってびっくり。高さ 10メートルはあろうかという大きな不動尊が有田 の町を見下ろしています。

何はともあれお祈りをしてさらに進むと今度は道端 に八十八カ所石仏と呼ばれる石仏がずらりと並んで います。不動尊といい、この石仏といい、昔の人々 の信仰小の厚さに感銘を受けるととも



太鼓岩不動尊磨崖仏

に、そもそもこの黒髪山自体が信仰の山なのだと感 じたところでした。

今回の山行は山頂へ登るだけでなく、山と人との 関わりの一端を感じることができたと思います。今 後ともこうした山行ができたらいいなと思っていま す。

リーダーをはじめ皆さんお疲れ様でした。

#### <参加者>

宮原 (リーダー)・櫻井・若月・神田・平原 (瑞)・飛高・平原 (健)

## 個人山行 <沢登リ>

犬ヶ岳 恐渦 2021年8月7日

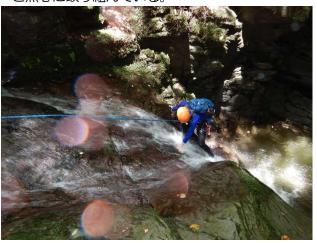
田所歳朗(14024)

#### 8月7日

当初、北アルプスへ行く予定であったが、台風接近で断念していたところ、安東支部長より、沢登のお誘いがあったので参加した。

今回の沢は初めての場所で、ペアも初めて会った 松ちゃんと組む事になった。

松ちゃんは緑山岳会の若者で、元々登山はしていたが、安東支部長に誘われて沢やクライミングを始め、週に数回はボルダリングジムで練習するなど熱心に取り組んでいる。



滝の壁に張付く松ちゃん

入渓後はしばらくは平凡な渓相が続き、初心者向き の沢だと思っていたが、30分ほど歩いただろう か、傾斜が徐々にきつくなり、小さな滝が増えて きた。



右岸の岩遡上

巻くことも可能であるが、あえて滝に挑戦。松ちゃんに50歳でもここまで出来ると見せつけないと、ちょっと頑張る。オーバーハング気味の岩にしがみつくが、足が滑って転落。もう一度トライするが、またしても転落。淵に落ちるので怪我はしないが厳しい~。5回目の挑戦はザックを降ろし身軽にしてクリアー。若者におっさんの底力を見せつける事はできただろうか?

そうこうしているうちにゴルジュ地帯に足を踏み 入れた。谷が狭く深く薄暗く、まさに恐淵。滝も 大きくなってきたので、時にはお互いをロープで 結ぶ。

このくらいはロープ無しでもいいだろうと、登ったところで、下からバシャッと音がした。振り返ると松ちゃんが転落している。幸い水溜まりに落ちたので怪我は無かった。ごめんよ〜松ちゃん。ロープ出しとけば良かった。失敗した。反省。そして、いよいよ大滝に到達。高さは15mといったとこかな。右側はスラブ状で滑って登れそうにないので、左側から登る。第一アタックは笠井さん。5m程登った所でハーケンにカラビナをセットするが、そこから登ることが困難なようなので、サポートに向かう。

同じルートをたどり、笠井さんを追い越す。最近、 笠井さんと密着する事が多々ある。崖での出来事 なので誤解しないで欲しい。何もやましい事はない。が、高さよりもこっちのほうがドキドキする。 高所恐怖症に加え、体が触れ合い心拍数急上昇。 無事に追い越して手がかりを探す。手掛かりはあるにはあるがヌメヌメで、これに体重かけて耐えれるか判断に苦しむ。

悩んだ結果、スカイフックを使ってみる。ヌメヌメ手がかりにフックをかけ、スリングをアブミ代わりにして乗り込む。フックはがっちりかかり、ヌメヌメゾーンを登り切った。いや、スカイフック凄いわ。便利だね。屋も過ぎ夕方から雨なので、今日はここで終了。



トップ笠井、後方田所

松ちゃんとは、次はサマン谷で会おうと別れを告 げた。

北アルプスには行けなかったが、有意義な一日を 過ごすことが出来た。

みなさんありがとうございました。

#### <参加者>

安東、笠井、松ちゃん(緑山岳会)、田所

## 個人山行 富士山登山 2021年9月23日~25日 星子貞夫(8582)



富士山吉田ルート

#### 7月7日

富士登山計画の考えが浮かぶ。早速境卓也氏、 宮崎すみゑさん、布谷幸枝さんに電話する。三 名とも了解の返事あり。

計画書を作成してメールで発送する。

#### 7月10日

羽田空港往復航空券を2名分マイルで購入した。 9月23日

5 時起床。素晴らしい太陽である。寿司を食べて阿部さんの差し入れの黒ニンニクを食べる。

境氏の車に便乗して空港に向う。10:10 発— 11:40 羽田空港着。 航空機の<u>客室乗務員より激励の</u> ハガキを貰う。 ← (P21 に添付)

羽田空港より早速宮崎さんの車で富士吉田ルートの富士山五合目駐車場に向う。途中で布谷さんを拾う。佐藤小屋で夕食をして宿泊する。24日の朝食用として弁当を作ってもらう。昼用の弁当も頼んだが基本的に作らないと言われた。二年前とは様子が違っていた。

部屋は男女別室の畳の部屋で快適に寝られた。 9月24日 3:30 にライトを頼りに八角堂を経由して、駐車場よりの道に合流し、森林限界を過ぎ登りにかかる。

8:00 に赤い鳥居を通り 15:00 に山頂に着く。標準時間の約二倍である。 15:40 に下山を開始する。下りで不注意の為に宮崎さんの指摘を無視して須走ルートを下り、富士山七合目の太陽館に着き (17:40)初めて間違いに気付き、佐藤小屋に事情を話、太陽館(3090m)に宿泊して、翌日須走五合目登

山る客4でで宮の辺に助らなに宿我だっでん渡氏しもにある。





富士山山頂

ンションを経営している。快く受け入れてくれて須 走五合目まで迎えに来てくれることになる。今まで 16回も富士山に登り、一度も下りで道を間違う事 はなかったのに、思い込みが強く注意力がなかった。

9月25日

太陽館 より須口に 約2時間 半で近氏吉山 車登山車場 の駐車場

まで行き、



佐藤小屋に残した荷物を取り行く。私は疲れていたので宮崎さんと布谷さんに行ってもらった。途中スーパーに寄り食材の買物をしてペンシヨンに行く。

夕食時先ずはビールとワインで無事に登山が出来 た事を祝う。

#### 9月26日

朝から雨模様で外出を諦めて歓談をしていたが、 午後になって雨も止んだので長坂町にある「**平山郁 夫シルクロード美術館**」に案内してもらう。

#### 9月27日

朝食後、宮崎さんの運転で羽田空港に向かう。遠 くに富士山の初冠雪を見る。帰り便の予定時間より 早く着いたので、予約を変更し一便早い飛行機 (14:45-16:30)に乗る。明るいうちに別府に着く。 帰宅後直ぐに新別府病院に救急搬送してもらい、 コロナの PCR 検査をうける。陰性であった。





自然愛好家のための 素泊まりペンション

# 野の花山荘

山荘主:渡辺博之

〒409-1501 山梨県北杜市大泉町西井出8240-4990 携帯: 090-1027-3707 携帯メール PCメール: hiro\_nabe1@nifty.com



<参加者>

星子貞夫、境卓也、宮崎すみゑ、布谷幸枝

航空機客室乗務員より

### てるてるの会 山行報告

## 九州百名山 福智山

報告 清水久美子(会友 178) 令和3年8月9日

台風が通過して、お天気が回復する予定で福智山 ダムの登山口を目指すが、登山口に近づくにつれ雨 が降ったり止んだりの繰り返し、駐車場から出発し た途端に土砂降りの雨となる。登山口を歩き始めて すぐ、登山道横の沢が雨で増水しており渡れそうに ないため、一旦駐車場に戻り、改めて他の登山口を 模索することに。駐車場に戻った際、私達以外の車 が1台止まっており、登山準備をされている方がい らっしゃった。増水しており歩けそうにないことを 説明したが、その方は、1年で300回福智山に登 られるという前田さんという方で「増水していても 行けますよ、案内しましょうか?」と申し出ていた だいたが、私が歩く自信がなかったのでそのお誘い を一旦お断りした。駐車場で引き続き他の登山口を 検討していたところ、先ほど案内をかってでてくれ た前田さんが戻ってきて、他の登山口を案内してく れると言うので、そのご厚意を受けることにした。 案内していただいたのは上野(あがの)登山口。こ の登山口は、ルートが多くあり、雨でも安全に歩け るコースで案内してくれるとのこと。登りは登山口 からすぐ左の展望台を経由する白雲ライン・鷹取ル ートを歩く。最初は階段状になった登山道を歩き、 途中にある展望台を目指す。展望台からは周囲一帯 の町が見えるらしいが今日はあいにくの雨で何も見 えなかった。そこから岩場が続く、変化に富んだ登 山道に感心しながら歩く。途中林道を経て再度登山 道へ、雨に濡れてきれいな緑の林の中を歩く。登山 道はあまり勾配も大きくなく、かなり歩きやすく石 の階段のようなところが何か所もあった。しばらく 歩くと鷹取山と福智山の分岐、上野越に到着した。 上野越からはアブに悩まされたが、お花もたくさん 見ることができた。ギボウシ、モミジガサ、イチヤ クソウの実などが私達の目を楽しませてくれた。雨

が降っているので、山頂近くの避難小屋に立ち寄り 昼食を取ることになった。立派な避難小屋で近くに はトイレもある、雨から逃れ、ゆっくり昼食をとる。 避難小屋を出るころ小雨に変わり、いよいよ山頂を 目指すことに、滑りやすい登山道を避け、少し回り 込んでから山頂を目指す。山頂までの登山道はカワ ラナデシコがたくさん咲いていた。また、キキョウ やオミナエシ、ヤブランなども見ることができた。 山頂に到着したが、ものすごい風が吹き荒れていた



下り上野峡コース

ので、山頂の祠にお参りし、早々に下山。帰りは上 野越ルートを下る。



福智山頂上(白黒写真)

ことになったが、このルートは上野峡を流れる渓 流横の登山道を通る為、途中何度か雨で水嵩が増し た渓流を渡渉することになったが、前田さんが先導 してくれ、何度か渡渉するうちに楽しくなってくる。 まさにプチアドベンチャールート、雨が降ってくれ たからこそ体験できたルートでした。このルートは 春になると虎尾桜を見に来る人も多いルートらしく、 渓流以外にも「努根状」と書かれた看板の上に堂々 たる姿のスダジイの根があり、色々な見どころ満載 なルートでした。上野登山口に到着するころには、 すっかり雨も上がり、出会いもあり、様々なバリー エションが豊富なルートで大変充実した山行となっ た。案内してくださった前田さん、計画してくれた 宮原リーダー、御一緒してくれたメンバー皆様に感 謝感謝です。

#### <参加者>

宮原(リーダー)、平原 (健)、若月、神田、平原 (職)、清水 (久)

## 個人山行 [北アルプス]

# **奥穂高岳南稜** 2021年7月15日~18日 A-0224 笠井美世

手帳を見ていると介護に行かなくてよい週がポカリと浮かんで見えて、もしかしたら以前から計画していた奥穂高岳南稜に行けるかもしれないと思い立ち、安東さんに連絡したら即実行となった。

 $(2021 \cdot 7/15 \sim 7/18)$ 

コロナ禍で自家用車での往復、テント泊と決まっ た。梅雨明け当日の登攀を目指して7月15日正午 大分を出発し、ひるがの高原SA仮眠。16日上高 地から岳沢へ向かった。テント設営後に下見に行っ た。雪渓ではアイゼンを装着することと、南稜への 取り付きを確認した。17日岳沢を4時40分に出 発し、5時18分ルンゼに取り付いた。リード安東 さん、セカンド上野さん(会員外)ラスト笠井。ロ ープに3人がつながった(2ピッチ)。一見易しそ うな岩場も登ろうと思うと恐怖心が出てくる。浮石 も多く、スラブ状の岩場の上はざれていて滑りそう だった。はい松漕ぎや短い岩場が続いた。高度感の ある切れ落ちた岩場はスリングで助けてもらった。 気が付くと写真で見たモノリス岩を越えていた。ト リコニー I 峰のチムニーをらせん状に登り、7m も あるチムニーの上を飛び越え、カンテ状の岩をトラ バースして核心部を越えた。安東さんは踏み跡や残 置ハーケンやスリングを見てルートファインディン グをしていたが、私はついていくことに精一杯だった。11時10分南稜の頭に到着した。快晴の奥穂高岳山頂からは4年前に縦走した槍ヶ岳まで見渡せた。下山の吊尾根から眺める南稜は急峻だった。重太郎新道を慎重に下り、岳沢泊。18日大分に22時に到着した。



#### 下方にモノリス岩

振り返って感じたことは、共同装備を含め 15 kg程の荷物に足取りが重くトレーニング不足を痛感した。安東さんからは荷物の軽量化を指摘された。3級程度岩場で難しくないが確実な3点確保と足への乗り込みが大事だと思った。下山時重太郎新道梯子の下に血が残っていた。前日岳沢で見たその人のヘルメットは割れて血が付着していたが、足は日本手ぬぐいで処置されていた。自分で適切な処置ができるだろうか。10日後南稜で滑落死亡事故があった。事故はどこでも起こりうる…。

奥穂高岳南陵は 1912 年ウォルター・ウェストンと上条嘉門次が初登したルート。アルパインクライミングにあこがれて買った日本登山大系「槍ヶ岳・穂高岳」に掲載されているバリエーションルートに行けることは嬉しかった。安東さん、上野さんとは一緒にクライミングをしていたので、協力して登ることができた。岩場や高度対する恐怖感はなかった

が、高山病や緊張もあったので深呼吸を意識した。 青年部や研修山行で何度も繰り返し練習してきたことで、安心して今回の山行に参加できた。これから も、経験を重ねていきたいと思った。



尾根を歩く



奥穂高岳山頂での達成

<参加者> 安東(リーダー)、笠井、上野

## 個人山行

日本百名山の登山 (焼岳・御嶽山・瑞牆山)

> 宮原 照昭(会員 15683) 令和3年7月 15 日~19 日

## 7月15日(木) 大分—松本—新穂高温泉

去年からのコロナ禍の今年も続き3年間は北アル プスに行ってない中、今年こそはと考えていたが今 年もダメかと思っていた時、若月さんが7月に日本 百名山に行く話を聞いて直ぐに飛びつく。直ぐに福岡一松本の飛行機を予約して計画書作り焼岳・御嶽山・瑞牆山その中で御嶽山の候補が有り楽しみだ。7月15日に大分からバスで福岡空港の国内線に朝10時に着く。空港から乗る飛行機を見て小さな飛行機でビックリした。乗った飛行機が、揺れながら松本空港に着くと今川さんと若月さんが迎えに来ていた。そして明日の予定の焼岳登山の為、新穂高温泉の宿に着く。露天風呂が有名なので雨の中に入り、明日に備えた。焼岳がハードになるので旅館に朝6時に出る為、朝弁当を作ってもらい就寝した。

### 7月16日(金) - 新穂高温泉―足洗谷 ―焼岳―中ノ湯温泉―濁河温泉

朝早く4時40分に起床し直ぐに旅館を出発し、 10分位で足洗谷の登山口に着く。登山口からは、 林道を歩きそして樹林帯に入ると、天気が良く朝 からの日差しが眩しく少しずつ高度を上げていく。 中尾峠には3時間位かかった。右には、大きい焼 岳が見え、左には西穂高荘などがあり縦走コース で人気がある。それを右の大きな焼岳を目指して 急登し行くと活火山の白い煙を見ながら 11 時過 ぎに頂上手前に着きそして 10 分で頂上に上がる と、火山壁は荒々しく、噴煙も見られる。旧火山 口の底にはコバルトの輝く火山湖が有り、そして 360 度を見渡しながら下の分岐で昼食して、そし て中ノ湯温泉に向けて草原状の尾根を降りること 約3時間で中ノ泉峠登山口に着く。朝から5時か ら出発して約10時間かかり疲れた。そして今川 さんの運転で次の目的の御嶽山の8合目の近く濁 河温泉に向けて御嶽山山越え行くと途中に子熊を 発見するが、車の運転中で安心して濁河温泉に着 く。そして本命の御嶽山の日程を見直し、御嶽口 ープウェイで行くことにして就寝する。



焼岳山頂にて

# **7月17日**(土) - 濁河温泉―御嶽ロープウェイ―御嶽山(剣が峰) - 上須磨温泉

朝、普通通りに朝食を済ませ鹿の瀬駅の御嶽ロープ ウェイに9時過ぎ着きロープウェイで飯森高原駅に 9時40分出着く。そして歩きやすいコルク道を10 分で七合目の行場山荘に着くとそれからは石ころ登 山道を徐々に上がって行く。土曜日なので登山客が 多く、天気は良く8合目(女人堂)に11時過ぎに 着く。昔は、女人堂は頂上までの登拝を許されなか った女性たちが男たち帰りを待ちながら参拝したと ころです。そこで若月さんと話し合い、若月さんは、 剣が峰の頂上(3,067m)を登り、そして私はロ ープウェイの最終時刻4時30分で帰りを待つ事で、 時間の許す限り行くことになり標高2,600mの所 で断念した。そこで昼食して今度はゆっくりと下山 開始。そしたら信仰登山の人達がまだ上がってくる。 山小屋泊りの人達みたいだ。そして私は8合目に着 き、ゆっくりラムネを飲んで休憩すると若月さんか ら 13 時過ぎ電話あり頂上に着いて頂上の風景など の動画見せてもらう。私はもう少し頑張れば頂上だ が残念である。それからゆっくりを大きな石をよけ ながら下山する。 7 合目には「ぜんざい」 食べて待 つ。 ロープウェイで3 時過ぎに若月さんが追いつい た。自然公園を散歩してロープウェイで降り今川さ んが待っていた車に乗り今夜の宿の上諏訪温泉まで 2時間位で着く。今夜の宿ビジネスホテルの為外の 居酒屋で夕食して就寝する。



御嶽山の八合目小屋の前

# 7月18日(日) 上諏訪温泉温泉一瑞牆山山荘登山口一瑞牆山一増富温泉

朝7時に起床して朝食して上諏訪温泉を出発して1 時間半位で瑞牆山登山口に着く9時過ぎ登山口を 出発する。美しいミズナラ林の中を少しずつ高度上 げていく。そして鞍部に着くと岩の瑞牆山が見える。 それからすぐに富士見平小屋に着くとテントが多く 金峰山からの分岐の位置であり縦走コースの人達が 多く人気の瑞牆山だ。それからは、登山道は石ころ をよけながら登って行く。段々大きな岩がゴロゴロ と見えてきた。天気も良く暑いそして途中昼食取り 登って行くと午後 1 時過ぎに瑞牆山頂上だ。頂上 は、岩が突き出た分で、展望も素晴らしい。写真を 撮るたびに動くと少しヒヤヒヤで30分位岩の上景 色を堪能して下山開始。慎重に降りていくと老夫妻 に会い特に女性は、80歳でこの山に何回も登って いるとの事で関心。一緒に降りるがドンドン差が着 く。そして富士見平小屋に着くと一安心。午後4時 頃登山口に着くと今川さんが待っていた。それから は、今夜の宿は、増富温泉は30分位で着く。ここ の温泉は天然ラジウム温泉で湯治客がいて癒しの宿 でした。



瑞牆山山頂にて

### 7月19日(日) 增富温泉—福山一大分

今日中に福山に寄って大分まで車で走る為、朝弁 当を作ってもらい5時出発した。ほとんど今川さん の運転でスムーズに進んで行く。高速の中央道・名 神高速・山陽道で福山には、昼の12時過ぎの着き そして車を変え山陽道・九州道・東九州道と大分に 夜7時30分位に着く。

今回の日本百名山を登る事にしたのは急の日程で 飛行機で松本空港で今川さんが車に迎えに来ていて おかげで焼岳・瑞牆山は山頂まで行くが御嶽山は遅 く出発し暑さで途中リタイヤする。しかし毎日癒し の温泉を今川さんが選んだので疲れが取れていい旅 でした又来年もチャレンジしたいです。

<参加者>

今川三弘 (リーダー)・若月美智子・宮原照昭

## 支部からの報告 (会務報告)

## 支部会議報告

第3回役員会 7月29日(木)大分市西部公民 館

- 1. 古道調査について
- 2. 第8期登山入門教室について
- 3. 山の日について
- 4. 山の安全を祈る集い
- 3. その他

## 第4回役員会 9月28日(木)大分市西部公民 館

- 1. 古道調査について
- 2. 第8期登山入門教室について
- 3. 忘年会・忘年登山会について
- 4. 中級登山講習会について
- 5. その他

## 支部のルームについて開催状況

8月6日(金) 大分市西部公民館 出席者 3名 9月3日(金) 大分市西部公民館 出席者 6名 10月1日(金) 大分市西部公民館 出席者 6名

## 支部ルーム開催予定

11月5日(金) 大分市西部公民館 18:00~ 12月3日(金) 大分市西部公民館 18:00~ 1月7日(金) 大分市西部公民館 18:00~

## お知らせ

## 新入支部会員紹介(令和3年4月以降)

### 準会員

(準会員番号 AO4OO ) 3年8月 入会 岩崎真琴

## 会友

(会友番号 252 ) 3年10月 入会 佐藤 彰

## 月例山行のご案内

#### |11 月月例山行:扇ヶ鼻(1,698.0m)|

#### 「新大分百山に新たに選定された山に登る」

時……11月14日(日)

発……11月14日(日)午前8時 出

集合場所……駐車場(赤川登山口駐車場)

参加申し込み期限・・11月7日(日)まで

担当リーダー・・矢上将大

参加申し込み・・ (携帯) 090-9494-8115

Email zuck.ni.rock50@gmail.com

※地図 1/25000 久住山、湯坪

#### 1 月月例山行:仲山仙境(316.8m)

#### 「新大分百山に新たに選定された山に登る」

時……1月14日(日)(決定)

発……1月14日(日)(決定)

集合場所……未定

参加申し込み期限・・1月7日(日)まで

担当リーダー・・未定

参加申し込み・・(携帯)

Email

※地図 1/25000 香々地

## 忘年登山:花牟礼山(1,170.5m)

日時 12月12日(日)

場所 花牟礼山

集合 由布市役所庄内庁舎 8時

ルート 庄内庁舎にて乗り合わせにて、阿蘇野 へ 阿蘇野、了正寺の駐車場(駐車台数が限ら

> 登山ルートは、新大分百山記載のルートでは ありません。

地図を読んで、山を見て、登ります。本ルート はネット検索では出てきません。

登山能力の向上を目指します。

步行時間 4~5時間程度

装備 標準的なハイキング装備。国土地理院 1/25000 図:大船山。数人に 1 本くらいの細いロープ があれば。

申し込みは、事務局へ

## 第2回目 古道調査について

- 1 日 時 令和3年11月21日(日)8時~15時(解 散予定)
- 2 集 合 8:00「たていしの館」国道10号 大分から立石峠の約1km手前左側
- 3 持ち物 昼食、飲み物、その他必要なもの 地図(添付資料地図の2・3ページ、前回1 ページを調査)
- 4 連 絡 参加される方は11月14日(日)までに、 井上または 事務局へメール・電話で連絡してくださ い。
- 5 その他 不明な点等は連絡をお願いします。 ※不明な点については、下記の担当にお問い合わせ ください

古道調査主担当 井上髙明 080-5210-9368

## 第3回 1月15日(土) くじゅ

うヒュッテ

山小屋に泊まって山を楽しむ

1月16日(日) 久住山(178

7m)

初歩的な冬山の登り方を学ぶ

6 参加費用 3.000円

#### ※会員はスタッフ参加をお願いします。

## 中級登山講習会について

実施予定とコースを紹介します。

第4回目 11月3日(祭日)日出町の岩(石鎚神 社の岩)

第5回目 12月4日(土) 宮崎県比叡山(南面スラブ)

第6回目 1月8日(土)~9日(日)山口県 莇 ヶ岳~弟見山 (積雪期登山)

## 清掃登山と合宿

日 時……10月23日(土)~24日(日)

場 所……坊がづる「あせび小屋」

出発・・・・・予定参加者で決定!

清掃場所・・・・・九重山系の登山道

参加申し込み期限・・10月18日(月)まで

## 2021年度 第8期登山入門教室

#### 開催内容

- 1 対象者登山初心者(未経験者可)
- 2 実施期間 令和3年10月から令和4年1月ま で
- 3 定 員 20人程度
- 4 募集期間 令和3年9月1日(水)から10月 15日(金)まで

ただし、定員に達したときは、募集 を中止する。

5 研修日程 第1回 10月31日(日) 倉木 山(1156m)

意木山に登り、登山の基礎を学ぶ。 第2回 11月28日(日) 津波 戸山 529.1m)

岩場での安全な行動を学ぶ

## 年次晩餐会中止のお知らせ

年に一度の晩餐会は、昨年に引き続きコロナウィルス感染拡大防止のため、中止となりました。

今年は晩餐会ウィークの一環として支部交流の 場としてウェビナー企画をしています(本部)。お 忙しいところ誠に恐縮ですが四支部の皆様方にウ ェビナー出演頂きたくお願い申し上げます。何卒 よろしくお願い申し上げます

四支部ですが、北海道支部、福島支部、四国支部、東九州支部です。各支部長が対応いたします。 URL が分かればアナンス致しますので是非ご覧ください。

## メール(事務連絡)一斉配信の不具合 について

最近、事務局より会員相互のコミニケションを迅速に図るため、一斉メール配信する場合が多くな

ってきました。その際、送信先のアドレスの不具合で常にメールの送信が出来ていない方がおられます。自分のアドレスにメールが届いていないと思われるか方は、再度、空メールを事務局のアドレス(beca5844@oct-net.ne.jp)まで送り下さい。

### 会費未納の方へ連絡いたします

平素から支部活動にご理解を頂き誠に感謝申し上げ致します。皆様のおかげで令和3年度の事業計画も順調に進めているところであります。 さて、今年も10月を過ぎ後期に入りました。 まだ、本部会費及び、支部会費をお納めでない方は、お納め頂きたく存じます。

よろしくお願いします。

## 第5回支部役員会開催のご案内

第4回 支部役員会を下記の通り開催しますので 役員の方はご参集下さい。

日 時……令和3年11月25日(木)

場 所……大分市西部公民館

議 題……①令和4年度事業計画について

②登山入門教室実践講座について

③古道調査について

4その他

### 後 記

・古道調査が始まりました。東九州支部のフィールドは宇佐・国東半島全域「六郷満山」です。神と仏が混在する場所。伝説の始まりは、宇佐八幡大神の化身である。「仁聞(仁聞菩薩)」は、宇佐宮南にそびえる御許山で出家し、法蓮・覚満など4人を同行して、まず御身に油を塗り3年間焼き続ける焼き身の行を行い、その後、国東の山々に仏法修行に入り、その修行は70年にも及んだと言われています。

・「六郷満山」とは、大分県国東半島にある天台宗寺院が存在する場所で、六郷とは来縄、田染、安岐、武蔵、国東、伊美をさす。現在では仏の郷との愛称で人々に親しまれている。1300年ほど昔(718年)ここに28の寺院を開創し、6万9千体の仏像を造り、神仏習合の原点となる山岳宗教を開いたとされ、峰々に巡行路を示したとされる。今回歴史を紐解きながら、支部としての古道調査をまとめる。

(TA)

# 公益社団法人日本山岳会東九州支部東九州支部東九州支部報第95号

2021年(令和3年)10月25日発行

発行者 安東桂三

編集者 阿南寿範

印刷所 佐伯印刷株式会社

発行所 事務局

〒870-1113 大分市中判田15-55 阿南方

TEL·FAX 097-597-7120

E-mail beca5844@oct-net.ne.jp

